

三加和
中学校
学校たより

みがきあつ

21 限目

2月10日 金

大人になっていく

きみたちへ... その2

3年生の
高校入試
結果をうけて..

夢について考えよう。

現在、3年生は7割の人が進路を決定し、残り3割の人が第一志望の高校入学に向けてラストスパートをかけているところです。それぞれの人がいよいよ考えのもと、進路先を決めています。1、2年生の皆さんも、しっかりと将来のことを考える時間をつくってほしいと思います。ただ、私もそうでしたが、中学生のうちには、きりと将来の夢を決めている人は数少ないと思います。だから保護者の方も、子どもさんと将来のことを話す機会を設けてほしいと思います。この通信をきっかけに一度話をしていただければありがたいです。例として私の進路決定のエピソードの一部を紹介しませぬ。

小学生の頃、荒牧少年はパイロットを夢見ていました。ほんと、ただのあこがれ程度だったと思います。中学になっても、パイロット、てどうやたらなるのかすら知りませんでした。今みたいに進路学習なんてものはありませんでしたし、インターネットや進路に関する本なんてものもなかったのて、自分の知識の範囲内でしか進路と考えられませんでした。

その狭い生活範囲の中にあたのが、自宅近くにある自衛隊でした。友だちのお父さんに自衛隊の人が多く、『航空自衛隊に入ればパイロットになれるじゃん』

と安易に考え、陸上自衛隊高等工科学校を候補にしました。ところが、大きな問題が..... それは、荒牧少年は身長が中3で147cmしかなかったんです。その頃、受験資格に身長150cm以上、とあったので、なんと受験することすらできませんでした。そこでもうひとつ持っていたあこがれが『電気回路の仕事』でした。そこであかった候補が、電波高専(今の熊本高専)でした。しかし、中3の夏休みのお盆の時、電気工事の仕事をしているおじさんに相談したら、『本当に夢はそれ一本にしほれととかい? 他にもやりたいと思っていることがあとなら、普通高校に行き、3年考えて、それでも電気関係をしたかなら、それから工業系の大学とかに進めはよがる?』と言われ、普通高校に行くことに決めました。

その後、高校に進学しても、第1の希望はパイロットだったんですが、高2の時に視力が落ち始めたため、パイロットの夢はとたえてしまいました。(昔、日本の航空業界はとにかくきびしく、裸眼視力が悪かたらパイロットにはなれなかったんです。) そのため、工業系の道を考えるようになったんですが..... 今の私の仕事は学校の先生です...。なんで!?!と思われるかと思いますが、そこは新面に入りまきませんので省略しますが、とにかく、私みたいにゴロゴロ変わりながら夢や進路を決めていく人は多いと思います。自分の得た経験で変わり、その都度修正しながら大人になっていく人です!!

夢がある人は大いに結構、その夢に向かって突き進んでほしいですし、また決まらない人は、周りの人の意見やアドバイスを聞きながら見つけていってくださ!!。そのためにも、保護者の皆さんも、ご自分の進路決定の話だけでもかまいませんので、子どもさんに伝えてほしいと思います!!。それを受けて子どもも何かを感じとると思います。よろしくお願ひします。

返信ありがとう
ござります!!

すみません、返信を
かえスペースがなかったから
ました.....

